



ウメモト インフラオメーション



2020年5月22日 担当: 岩崎

消費者物価 0.2%下落

4月、3年4カ月ぶり コロナ・原油安で

総務省が22日発表した4月の全国消費者物価指数(CPI)、2015年(100)は、生鮮食品を除く総合指数が101.2%下落した。3年4カ

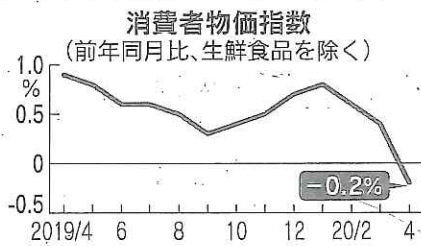
月ぶりの下落となる。原油安でガソリンが9.6%値下がりしたことが響いた。新型コロナウイルスの感染拡大で旅行や出張が急減し、宿泊料は7

CPIは物価変動を通じて経済動向を測る「経済の体温計」とされる。下落は原油安の影響などが響いた。16年12月以来、今年4月は年初からの原油安を受けてガソリ

ンが急落。同じく化石燃料の価格に左右される電気代は2.7%、都市ガス代は3.6%下がった。旅行需要の減少で海外パック旅行費は11.7%

も下がった。切り花も1.9%下落した。「冠婚葬祭やイベントの需要が減った」(総務省の担当者)とみられる。一方、需要が増えたマスクは5.4%上昇した。

「ガソリンなどのエネルギー関連は5月も値下がりしている可能性が高い」という。物価下落はしばらく続くとの見方が広がっている。



引用記事: 日本経済新聞

夕刊

燃料油脂新聞

化学工業日報

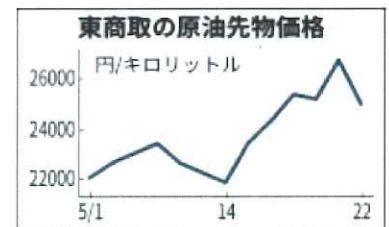
東京原油が大幅反落 中国の香港統制強化巡り

365文字 [有料会員限定]

保存 共有 印刷 共有 ツイート その他

東京商品取引所の原油先物価格が大幅反落した。22日の清算値（期先）は1キロリットル2万4950円と前日に比べ1730円（6.5%）安い。中国が香港の統制強化に向けた法案を議論すると表明。米国との対立激化が世界経済の逆風になるとの懸念が強まり、石油需要の回復の遅れが意識された。

ニューヨーク先物は日本時間22日夕に1バレル31ドル台を付け、前日の高値から8%ほど下げた。米中对立への懸念からアジア株が下落し、金融市場のリスク回避姿勢が強まった。米国の3連休を控えて持ち高を調整する売りにも押された。



画像の拡大

NY原油は米国の経済活動再開や産油国の生産減少が好感され、21日まで6営業日連続で上昇。高値警戒感も強まっていた。

「上昇基調を保つにはさらなる需要回復を期待させる材料が必要」（第一商品フューチャーズ24の村上孝一課長）との見方が多い。

5月23日

引用記事

日経新聞

毎日新聞

化学工業日報

燃料油脂新聞



ウメモト インフォメーション



2020 年 5 月 25 日

担当者: 権野

トップ > 企業・経営 > 4月印刷・情報用紙国内出荷、19.7%減で9カ月連続の減少

企業・経営

4月印刷・情報用紙国内出荷、19.7%減で9カ月連続の減少

2020年5月22日

| <4月> | | 生産 | | 出荷計 | | 国内出荷 | | 輸出 | | 在庫 | | (単位:千トン・%) | |
|------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|--------|-------|-----|------------|--|
| | | 前年比 | | 前年比 | | 前年比 | | 前年比 | | 前年比 | | (参考)輸入* | |
| 4月 | 紙・板紙計 | 1,946 | ▲8.3 | 1,987 | ▲8.1 | 1,887 | ▲9.4 | 120 | +18.8 | 2,185 | 95 | ▲0.8 | |
| | 紙計 | 974 | ▲12.1 | 966 | ▲13.5 | 898 | ▲14.3 | 68 | ▲1.7 | 1,464 | 89 | ▲12.3 | |
| | 新聞用紙 | 176 | ▲11.2 | 165 | ▲18.5 | 165 | ▲18.5 | | | 242 | 0 | +1183.3 | |
| | 印刷・情報用紙 | 503 | ▲19.4 | 505 | ▲18.6 | 484 | ▲19.7 | 42 | ▲9.0 | 940 | 54 | ▲14.3 | |
| | 非常工紙 | 141 | ▲10.0 | 131 | ▲16.2 | 124 | ▲15.6 | 7 | ▲24.1 | 287 | 3 | +12.7 | |
| | 塗工紙 | 252 | ▲26.3 | 265 | ▲23.4 | 233 | ▲25.9 | 32 | +2.3 | 472 | 18 | ▲43.8 | |
| | 情報用紙 | 110 | ▲11.3 | 109 | ▲8.1 | 107 | ▲7.8 | 2 | ▲22.4 | 180 | 43 | +8.2 | |
| | 包装用紙 | 70 | +1.8 | 70 | ▲4.2 | 51 | ▲10.4 | 17 | +22.0 | 128 | 11 | +17.1 | |
| | 衛生用紙 | 189 | +8.3 | 188 | +6.2 | 188 | +6.2 | 0 | +102.1 | 45 | 2 | +42.6 | |
| | 紙漿計 | 972 | ▲4.2 | 1,020 | ▲2.4 | 909 | ▲4.3 | 52 | +35.4 | 722 | 20 | +11.4 | |
| | 段ボール原紙 | 807 | ▲2.7 | 849 | ▲1.3 | 800 | ▲3.3 | 49 | +58.4 | 461 | 7 | +32.0 | |
| | 白紙計 | 104 | ▲15.4 | 109 | ▲8.8 | 104 | ▲9.5 | 3 | +24.7 | 174 | 21 | +6.3 | |
| | グロス用紙 | 678 | ▲17.4 | 670 | ▲18.0 | 629 | ▲19.4 | 42 | ▲5.0 | 1,181 | 64 | ▲13.9 | |
| | ハイコート用紙 | 1,108 | ▲4.1 | 1,166 | ▲2.7 | 1,076 | ▲4.6 | 78 | +32.8 | 961 | 28 | +10.9 | |
| <累計> | | | | | | | | | | | | | |
| 4月 | 紙・板紙計 | 8,079 | ▲6.0 | 7,995 | ▲5.3 | 7,497 | ▲7.1 | 958 | +20.8 | 2,180 | 284 | ▲10.0 | |
| | 紙計 | 4,208 | ▲8.7 | 4,124 | ▲9.5 | 3,834 | ▲10.8 | 300 | ▲2.5 | 1,464 | 190 | ▲12.8 | |
| | 新聞用紙 | 744 | ▲11.8 | 725 | ▲11.8 | 725 | ▲11.8 | | | 242 | | +369.3 | |
| | 印刷・情報用紙 | 2,299 | ▲10.8 | 2,219 | ▲13.6 | 2,022 | ▲14.5 | 187 | ▲3.2 | 840 | 178 | ▲15.3 | |
| | 非常工紙 | 608 | ▲8.2 | 583 | ▲10.9 | 540 | ▲10.2 | 34 | ▲20.0 | 287 | 7 | ▲23.8 | |
| | 塗工紙 | 1,284 | ▲11.8 | 1,294 | ▲18.3 | 1,050 | ▲18.4 | 151 | +2.0 | 472 | 52 | ▲30.7 | |
| | 情報用紙 | 427 | ▲10.4 | 423 | ▲9.2 | 423 | ▲9.2 | 10 | ▲8.2 | 180 | 116 | ▲0.5 | |
| | 包装用紙 | 281 | ▲8.7 | 284 | ▲6.3 | 223 | ▲7.3 | 61 | ▲2.2 | 128 | 2 | +3.5 | |
| | 衛生用紙 | 918 | +4.7 | 930 | +8.0 | 938 | +8.0 | 0 | +81.6 | 33 | 9 | +33.2 | |
| | 紙漿計 | 3,871 | ▲3.5 | 3,861 | ▲0.9 | 3,603 | ▲3.0 | 258 | +78.8 | 722 | 74 | ▲1.7 | |
| | 段ボール原紙 | 3,166 | ▲2.8 | 3,185 | +0.2 | 2,917 | ▲3.3 | 248 | +84.9 | 361 | 11 | ▲14.3 | |
| | 白紙計 | 335 | ▲7.8 | 345 | ▲6.3 | 337 | ▲8.5 | 15 | ▲2.9 | 174 | 21 | +6.1 | |
| | グロス用紙 | 3,947 | ▲10.9 | 3,944 | ▲13.2 | 2,747 | ▲13.8 | 197 | ▲3.2 | 1,181 | 175 | ▲16.8 | |
| | ハイコート用紙 | 4,415 | ▲1.3 | 4,411 | ▲1.6 | 4,051 | ▲4.1 | 300 | +39.7 | 961 | 80 | ▲1.7 | |

(注) 1. 国内工場生産額・出荷額・在庫による。
2. 紙・板紙計には「その他の紙」、「白紙以外の紙器用板紙」、「その他の紙紙」が含まれる。
3. 輸入・は3月、1-3月

日本製紙連合会調べ

日本製紙連合会が発表した2020年4月の紙・板紙需給速報によると、紙・板紙の国内出荷は前年同月比9.4%減で9カ月連続の減少。うち、紙は14.3%減で9カ月連続の減少、板紙は4.3%減で7カ月連続の減少となった。

印刷・情報用紙の国内出荷は前年同月比19.7%減と大幅に落ち込み9カ月連続の減少。輸出は5.0%減で前月の増加から減少へと転じた。

その他の品種でも、衛生用紙が6.2%増で3カ月連続の増加となったほかは、新聞用紙が前年同月比18.5%減で30カ月連続の減少、包装用紙が10.4%減で13カ月連続の減少、段ボール原紙が3.5%減で7カ月連続の減少、白板紙が9.5%減で9カ月連続の減少となった。



ウメモト インフラオメーション



2020年 5月 25日

担当者: 小坂

純損益 黒字回復145億円

キグナス向け供給増貢献

HD予想
エネルギー
モネ予
コス今

コスモエネルギーホールディングスは、2020年度(2020年4月～2021年3月)連結業績予想を発表した。営業利益は前年度比148・3%増の34.5億円、経常利益は84・2%増の30.0億円を見込み、最終利益は42.7億円増え、14.5億円の黒字に回復する見通しだ。

同社は、バイ原油価格が29バ(前年度60バ)を替レート1バ105円(109円)を前提に新型コロナウィルスの影響を考慮し、現時点で想定可能な要素をもとに2020年度計画を策定した。

現時点では在庫影響をゼロとしており、実質経常益も300億円の前年度比385億円減少する。前年度は原油価格暴落の影響がまだ小さく、利益に貢献した石油開発事業が今

期は490億円減の損失40億円に落ち込む。石油化学も市況悪化と定期修理による数量減で、77億円減の損失25億円と厳しい予想になった。

一方、石油事業は226億円増の270億円に回復する。新型コロナ下で燃料油需要が減少するなか、キグナス石油向け供給により販売計画は101%と

想定。ジェット燃料油は56%に落ち込むが、全体では96%と堅調を見込む。また前年度の製油所トラブルによるマイナス影響が解消し、実稼働率は95%を維持する見通しだ。

2020年度連結業績予想は次の通り(カッコ内前年度実績)。

- ▽売上高 2兆400億円(2兆7380億円)
- ▽営業利益 34.5億円(13.8億円)
- ▽経常利益 30.0億円(1.62億8500万円)
- ▽当期純利益 14.5億円(損失28.1億5500万円)。

引用記事

日本経済新聞

燃料油脂新聞

化学工業日報

石連会長にJXTG杉森社長

石油元売りなどをつくる石油連盟は22日、月岡隆会長（出光興産会長）が退任し、杉森務副会長（JXTGホールディングス社長）が同日付で会長に就任したと発表した。杉森氏は就任会見で「石油の安定供給、気候変動対策、製油所の国際競争力を強化していく」と述べた。任期は2年間。

5月23日

| 投資削減の主な事例 | | 【ニューヨーク＝中山 修志、ロンドン＝篠崎健太】欧米の石油メジャーが2020年の設備投資を大幅に削減する。米エクスン、エクソンは20年に予定していた330億ドルの設備投資を230億ドルに削減する。米シェールは3月下半旬に発表した40億ドルの投資削減計画を拡大し、さらに20億ドルを削減する。6月末までに6割の石油探 |
|-----------|---------------------|---|
| 米エクソン | モザンビークのLNGプロジェクトを延期 | |
| 米シェブロン | 米南部の石油リグを6割停止 | |
| 英蘭シェル | 米LNGプロジェクトから撤退 | |
| 英BP | 長期の新規プロジェクトを抑制 | |

減少が21年まで続くとも、プロジェクトを延期する。

石油メジャー、投資圧縮

欧米6社で3.3兆円減 原油価格崩落、開発中断も



同プロジェクトは口播ホールディングスがプラント建設を注注しており、日本の重工業メーカーにも影響が出る。

シェブロンは3月下旬に発表した40億ドルの投資削減計画を拡大し、さらに20億ドルを削減する。6月末までに6割の石油探

掘装置（リグ）の稼働を止め、パーミアンでの探掘抑制で20億ドル以上の投資コストを浮かせる。5月6月に最大で生産の1割弱にあたる日量30万バレルを減産する計画だ。（テキサス州の採掘現場）＝ロイター

米シェブロンは5～6月に最大で生産の1割弱にあたる日量30万バレルを減産する計画だ（テキサス州の採掘現場）＝ロイター

背景にあるのが歴史的な原油価格の下落と業績悪化だ。

各社の20年1～3月期決算は、シェブロンとトタルを除く4社が最終赤字となった。原油価格の急落で開発・生産の上流部門の採算が悪化し、在庫や生産設備の評価損も膨らんだ。

石油メジャーの投資抑制は機械や建設、輸送など幅広い関連産業に影響を及ぼす。

米キャタピラーは石油開発などに用いる鋸山機械の1～3月の売上高が世界で23%減少した。鋸山機械は同社の売上高の2割を占めるが、「開発業者が機械更新の投資を抑制し、買い替え需要が止まっている」。鉄鋼大手USスチールは石油・天然ガスのパイプラインに用いる鋼管出荷が1～3月に1割減、販売単価が2割安となった。

原油価格は3月半ばに

サウジアラビアとロシアの協調減産協議の決裂をきっかけに急落した。石油輸出国機構（OPEC）と非加盟の主要産油国は新型コロナウイルスの影響拡大を受けて5月から日量970万バレルの減産に合意したが、最大で2000万～3000万バレルとされる世界需要の減少とはなお隔たりがある。

シェールのベン・フラン・フルアンCEOは将来にわたって持続可能なビジネスを築く必要がある」と述べ、原油相場に左右されにくい再生可能エネルギーやバイオ燃料、水素などへの投資を加速する考えを示した。

一方、エクソンのダレン・ウッズCEOは「2040年までに世界のエネルギー需要が割増する見通しは変わらない」と強調。米国内で5年で500億ドルを投資する計画も据え置く」と説明した。